

6大学溶接で討論

阪大ら、公開討論会

大阪大学(接合科学研究所)、東京工業大学(フロンティア材料研究所)、東京医科大学(生体材料工学研究所)、東北大学(金属材料研究所)、早稲田大学(ナノ・ラフイフ創研機構)、名古屋大学(未来材料・システム研究所)は3月30日、大阪市中央区の大阪大学中之島センターで「学際・国際的高度人材育成ライフ・イノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト(6大学連携プロジェクト)」の第2回公開討論会を開催。約120人が参加し活発に質疑応答を繰り返した。

最初に大阪大学接合科学研究所の南二三吉所長が挨拶した後、首都大学東京大学院の金村聖志教授による基調講演「二酸化炭素削減に資するALCA-SPRINGプロジェクトにおける革新電池の開発」からスタート。



南所長

金村氏はALCA-SPRINGの目指すところとして、「徹底したサイエンスに基づく新材料の探索・開発とそれを生かした電池システムを構築する」、「最終的に革新電池を実現するという観点を明確に持ち、電池設計

から正・負極、電解質材料開発、電池総合技術、評価解析までを一気通貫で行う」を挙げ、マグネシウム金属電池開発、全固体リチウム電池用部材の開発などを詳しく説明。最後にリチウムイオン電池・新型電池・革新電池それぞれの改善および開発課題をまとめた。招待講演は、①CMOSコンパチブルSiマイクロ熱発電デバイス



活発な質疑応答が行われた公開討論会

イスII早稲田大学・渡邊孝信教授②計算科学に立脚した高機能・高環境調和性材料の設計・探索II東京工業大学・大場史康教授③APATایتミネラルに蓄積された電気的エネルギー

工業適用II名古屋大学・黒田健介教授⑤金属脱合金化反応を利用した多孔質金属作製と二次電池への応用II東北大・和田武准教授⑥三次元ナノ構造を利用した高耐熱・高放熱

新奇接合技術II大阪大学・西川宏准教授の6講演が行われた。88件のポスターセッションにおいて溶接・接合関連は、▽溶接余盛止端部への摩擦攪拌プロセスへの適用II大阪大学▽金属と樹脂材重ねレーザー接合の熱応力解析II同▽核融合炉用先進高機能異材溶接・接合継手の照射特性に関する基礎的研究II大阪大学・東北大学▽プラズマミグプロセスの高度制御技術の開発及び異材接合への適用II大阪大学などが発表された。

「産報出版・溶接ニュース・平成30年4月17日」より
(掲載許可取得済み)